

全日本鍼灸学会東北支部通信 vol.2

(公社)全日本鍼灸学会東北支部B講座が、11月27日(日)に盛岡医療福祉専門学校4号館にて開催されました。大会テーマである『東北の鍼灸師に光を!』のもと、23名の参加がありました。

●講演1

「鍼灸師に役立つ交流分析」では、村上陽児先生(盛岡医療福祉専門学校専任講師)がコミュニケーションをより円滑に行うための学問である交流分析を初心者向けの内容として紹介いたしました。実際に「エゴグラム」を用いて、普段の自分の心の状態にどのような偏りがあるのかを知ってもらい、それがコミュニケーションに与える影響等を紹介いたしました。

●講演2

次に、青森県鍼灸師会会長の橋本博明先生による「変形性膝関節症の治療」について、ご講演頂きました。鍼灸臨床で頻繁に目にする機会のある変形性膝関節症について、前半は見逃してはいけない疾患の徴候、症例別の治療方法等、橋本先生の豊富な臨床経験に基づいて分かりやすくご説明頂き、後半は検査法等の実技の中で参加者と活発に意見交換を行いながらご説明頂きました。

●講演3

午後からは福島県鍼灸師会副会長の三瓶真一先生より、「社会に貢献する不妊症治療」と題し、前半は現在病院で行っている不妊治療の現状や、患者の精神的金銭的な負担について、また鍼灸治療を必要とする患者の背景などをご説明いただきました。後半は、中髎穴刺鍼、陰部神経刺鍼通電法などを実演にてご紹介頂き、このような治療により骨盤内の血流が改善する作用機序などを分かりやすくご説明いただきました。

大会を通じて、多くの質問や意見が飛び交い、また、実演の中では聴講者も取穴部位に手に触れるなど、積極的に参加し、大盛会となりました。前回同様、参加者全員で集合写真を撮影し、終了しました。

参加者からのアンケートでは集会の内容、雰囲気について、「実技が分かりやすく勉強になった」「続きを是非聞きたい」、「質問しやすい雰囲気で良かった。」など、多数の好評のご意見を頂きました。

次回は1月15日(日)に福島医療専門学校にて東北支部A講座が開催されます。多くの方のご参加をお待ちしております!



東北支部長の中沢良平先生(左)と、司会を務められた赤門鍼灸柔整専門学校の吉本豊先生(右)。



講演1でエゴグラム等を用いて交流分析を紹介した盛岡医療福祉専門学校の村上陽児先生。



講演2では橋本博明先生に変形性膝関節症について豊富な臨床経験を基に説明して頂きました。



講演2の後半は竹田里華先生より検査法の実演を行っていただきました。



講演3では三瓶真一先生より不妊治療における治療法をご紹介いただきました。



恒例となった集合写真。参加者の皆さんも大変有意義な時間を過ごし、笑顔で終了いたしました。